

## 第6学年家庭科学習指導略案

日 時 令和5年 2月1日(水) 3校時  
 場 所 6年教室  
 児 童 6年1組児童  
 (男14名 女14名 計28名)  
 指導者 及 川 朋 子

- 1 題材名 「持続可能な社会を生きる」
- 2 題材のねらい 自分の生活が環境に与えている影響について理解し、環境に配慮した消費者としての生活を考えようとする。
- 環境問題や資源の大切さについては、社会科や理科などの他教科で学習してきている。この題材で消費者として、生活の充実と環境に配慮することをいかに両立させていくか、考えられるようにする。

### 3 指導計画

	学習内容	指導者による支援・資料等
ステップ1 課題発見  〈1時間〉	〈生活と環境のつながりを考えよう〉 ・教科書のフォトランゲージをもとに自分達の生活が環境に与える影響を考え、課題を見つける。	自分達が知っている3R等の知識や、技術の進歩や広がりがあるのに、環境問題や資源枯渇の話題がなくなる理由を考えるための資料を提示。(写真や具体的なグラフ資料等)
ステップ2 課題解決・ 実践活動  〈2時間〉	〈環境を配慮した物やエネルギーの使い方〉 ・ステップ1であげた知りたい事象について、世界の中の日本の実態について調べる。 ・調べた内容を互いに報告し合う。  ・生活の中から課題を見出し、環境に配慮した実践計画を考える。  ・自分でできることを考え実践する。	図書やインターネットによる検索で調べる。(調べた情報の出典を明示させる。)問題だけでなく、問題を解決しようとする取り組みにも目を向けるよう助言する。 消費者庁「エシカル消費～ミライに出来るちょっといいことはじめませんか～」の動画を視聴する。 消費者庁パンフレット「みんなの未来にエシカル消費」を配付。
ステップ3 評価・改善 〈1時間〉	〈環境のことを考えた生活を続けよう〉 ・環境に配慮した生活の実践を行い、報告し合う。 その上で、これからも環境負荷に配慮した生活を継続することが重要だと確認する。	消費者市民社会の担い手となることを意識できるよう、実践を評価し合い、広げる。

#### 4 本時の指導（5／5）

##### （1） 本時の目標

実践したことや家族等が行っていることをふり返り、環境負荷に配慮した生活を継続しようとする態度を養う。

##### （2） 展開

	学習内容と活動	指導上の留意点
導入 5分	1 自分が行った実践や、家族等の身の回りで行っている環境に配慮した生活をふり返る。  2 本時の学習課題を確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">             未来にできるちょっといいこと、広げよう。           </div>	今までの学習をふり返り、環境と自分の消費活動がつながっていることを確認する。  自分の実践を伝え、友達の実践を知り、これからの未来に自分ができていることを考える時間とすることを意識させる。
展開  35分	3 自分が行った実践を報告し合う。  4 友達の実践や取組を踏まえて、これから自分が実践を継続していけそうなことを考える。	取り組みやすさ、継続のしやすさなどの視点で聞き合う。  聞いた実践内容から、自分の生活でもできそうなことを考える。
まとめ	5 今後の生活と環境の関わりについてまとめる。	未来にできるちょっといいことをまとめる。

#### 5 他教科との関連

【理科】「地球に生きる」（東京書籍）

- 人の生活について、環境との関わり方の工夫に着目し、多面的に調べる活動を通して、人と環境との関わりについて理解を図る。また、調査などに関する技能を身に付けるとともに、主に妥当な考えを作り出す力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を身に付ける。

【社会】「地球規模の課題の解決と国際協力」（教育出版）

- 地球規模で発生している課題の解決に向けた活動について調べたことをまとめ、世界の平和や環境を守るために協力することの大切さを捉える。また、国際社会の一員として、自分はどのような行動をしていくべきかを考える。

【特別な教科道徳】「食べ残されたえびになみだ」（主題：節度・節制）

- 物を大切にし、節度を守り、節制に心がける態度を養う。

#### 6 参考資料

○消費庁 消費者教材「よりよい買い物の仕方を考えよう～エシカル消費って なあに？～」

「みんなの未来に エシカル消費」（令和2年11月発行 パンフレット）「エシカル消費～動画「ミライに出来るちょっといいことはじめませんか～」